

春の永代経のご案内

長善寺

この冬は、いつもの年の三倍も雪が降りました。お彼岸になっても、共同墓地の雪が融けず、この様なことは滅多にないと老僧が話していました。でも、雪下ろしや除雪に苦労した沢山の雪も、春の訪れとともに融けてしまいました。再び春がやってきました。「願わくば 花の下にて春死なん その如月の 望月の頃」
今年も永代経で、春の一日を念仏と法にひたりながらお過ごしくださいますよう。

華嚴経は、東大寺の大仏様の教えです。その中に「善財童子の旅」という章があります。善財童子は文殊菩薩に導かれて、善知識から菩薩の道を尋ねる旅を続けます。五十三人の善知識を訪ねる善財童子の旅は、私たちの人生の旅と重なります。親鸞聖人は華嚴経を引用され、念仏こそ善知識と出会い、菩提心を持てるようになる「文殊の法」であると言われました。



安倍の文殊院の善財童子像
学生の頃、奈良を旅行した時に訪ねました。獅子にのった大きな文殊菩薩の左手側に、手を合わせて歩んでいる善財童子の小さなお姿に心を打たれたのを思い出します。

当山の春の永代経の厳修のご連絡をさせていただきます。お念仏させていただきます。幸せを共に味わいましょう。

一、 日時 五月二日(土)

日中 十時 粗食ながら昼食を準備しています。

逮夜 一時 お勤め 自坊にて、

日中：正信偈念仏・和讃・法話 「善知識を訪ねる旅」

逮夜：大無量寿経・和讃・法話 「華嚴経と道の仏教」

一、 永代経加入のご先祖

様